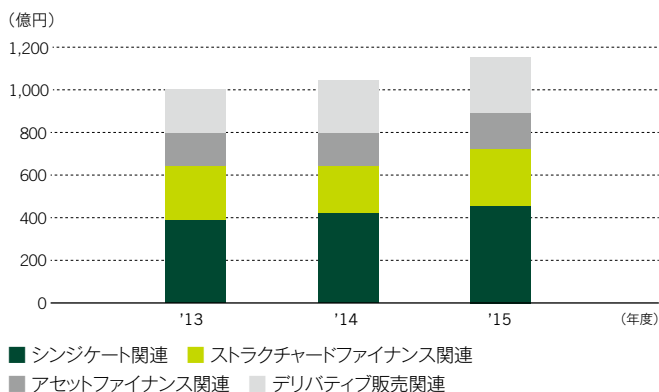


強みのあるサービス・新しいビジネス

▶ 強みのあるサービス

SMFGでは、三井住友銀行およびグループ会社の力を結集し、企業の資金調達・運用、M&A、リスクヘッジ等、様々なニーズに対してソリューションを提供しています。

プロダクト別非金利収益 (SMBC単体)



① シンジケートローン(日本) リーグテーブル *1

順位	組成額(億円)	シェア	件数
2	69,617	28%	621

マンドートアレンジャーベース、2015年4月～2016年3月

② プロジェクトファイナンス(グローバル) リーグテーブル *2

順位	金額(百万米ドル)	シェア	件数
2	12,832	4.6%	108

マンドートアレンジャーベース、2015年1月～2015年12月

③ M&Aファイナンシャル・アドバイザー(案件数ベース)リーグテーブル *3

順位	案件数	ランクバリュー(億円)
2	164	53,974

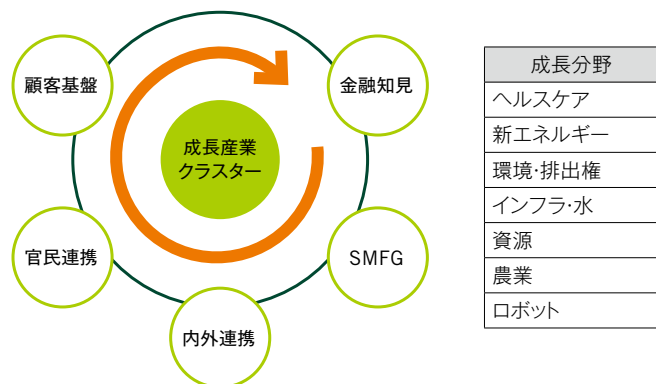
日本企業関連公表案件、2015年4月～2016年3月

*1,3 (出所) Thomson Reuters

*2 (出典) Thomson Reuters「Project Finance International」

▶ 成長分野に対する新たな取組

三井住友銀行の「成長産業クラスター」では、成長産業を金融面からサポートし、お客さまおよび日本経済の発展・成長への貢献に取り組んでいます。



ロボット分野では、2015年5月にSilicon Valley Robotics (以下、SVR)と業務提携を締結しました。また、高齢化社会への対応としては、ヘルスケアREITを通じて、重要な社会基盤である介護施設の供給を金融面から支援していきます。



SVRと業務提携を締結

▶ ファンドを通じた企業価値向上への取組

三井住友銀行は、三井物産株式会社、株式会社日本政策投資銀行との3社合弁により、国内の中堅・中小企業の経営課題解決と企業価値向上を目的としたプライベートエクイティ

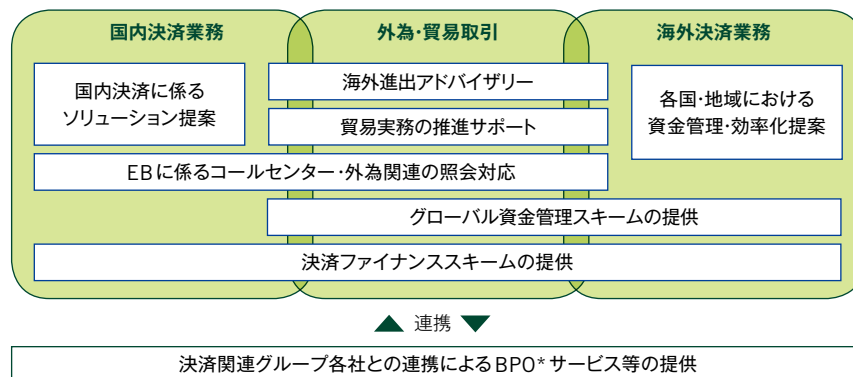
ファンド「MSDファンド」を2015年10月に組成しました。また、11月には、スパークス・グループ株式会社が設立した「未来創生ファンド*」にトヨタ自動車株式会社と共に投資しました。

*「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」において革新技術を持つ企業やプロジェクトを投資対象とするファンド

▶ トランザクション・ビジネス全般

三井住友銀行では部門横断的なトランザクション・ビジネス本部を設置しており、従来の決済業務にとらわれることなく国内外でお客様のニーズを先取りした付加価値の高い新サービスの提供に取り組んでいます。一例として、2015年11月にはGMOペイメントゲートウェイ株式会社と合併でSMBC GMO PAYMENT株式会社を設立しました。

トランザクション・ビジネス本部の国内外一体推進態勢

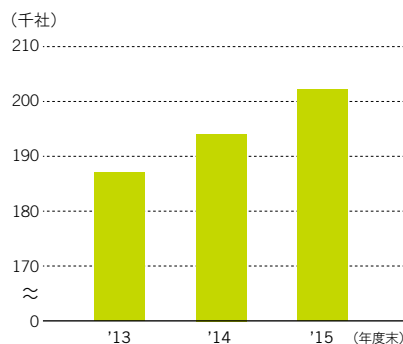


* BPO : Business Process Outsourcing

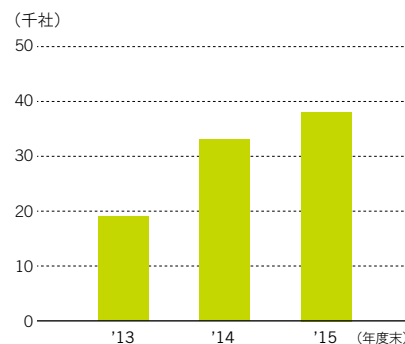
▶ 国内決済ビジネス

三井住友銀行ではお客様の国内における決済、資金管理等のニーズに対応するため、法人向けインターネットバンキング「パソコンバンクWeb21」（国内振込・口座照会等）、「SMBCでんさいネット」（でんさいネット）やインターネットを通じた海外送金サービスを提供しています。随時新機能をリリースすることで、契約社数も年々増加しています。

パソコンバンクWeb21契約社数

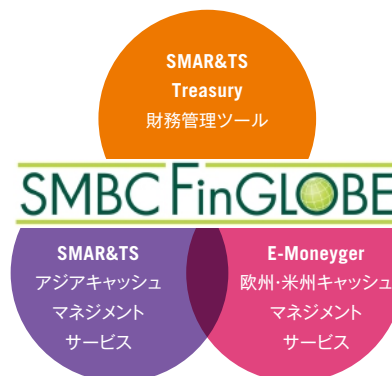


SMBCでんさいネット契約社数



▶ 海外決済ビジネス

お客様の海外現地法人における資金管理・内部統制強化ニーズの高まりにより、三井住友銀行では、「海外向けインターネットバンキング（SMAR&TS、E-Moneyger等）」の契約件数が増加しています。本サービスをご利用いただくことで、海外子会社を含めたグローバルな資金モニタリング体制の構築や、海外子会社における決済業務合理化を実現いただくことが可能です。



海外向けインターネットバンキング契約社数

